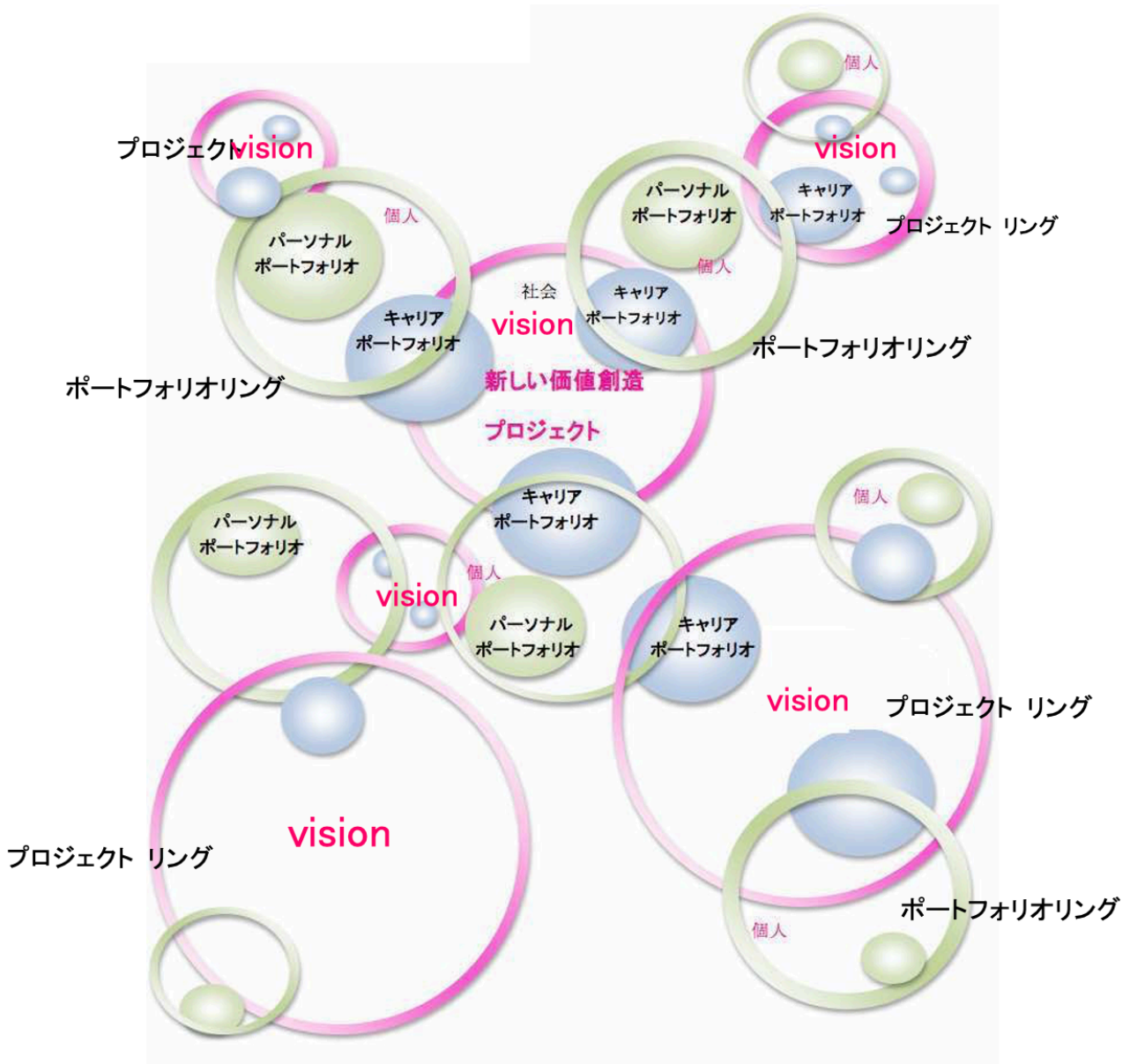


新たな価値創造を果たすプロジェクトのリップルス(波紋)

一つひとつのビジョンは、互いに影響しあいポートフォリオリングは果てなく広がりゆく...



このプロジェクトリップルスはweb3の鍵ともいえるDAOに共通する理念・コンセプトをもちます。

■ 未来教育 - 7つのビジョン

1. ビジョンとゴールを自己決定できる人
2. そのために「何が必要か」を考えられる人
3. 自ら林檎(知識・情報)へ手を伸ばす人
4. 確かな林檎(知識・情報)を手に入れられる人
5. 世の中を俯瞰し・自らを客観的に見る立ち位置
6. 事実・根拠ある情報をもとに思考、行動できる人
7. 他者に役立つアウトカムを生める人



未来教育-プロジェクト学習

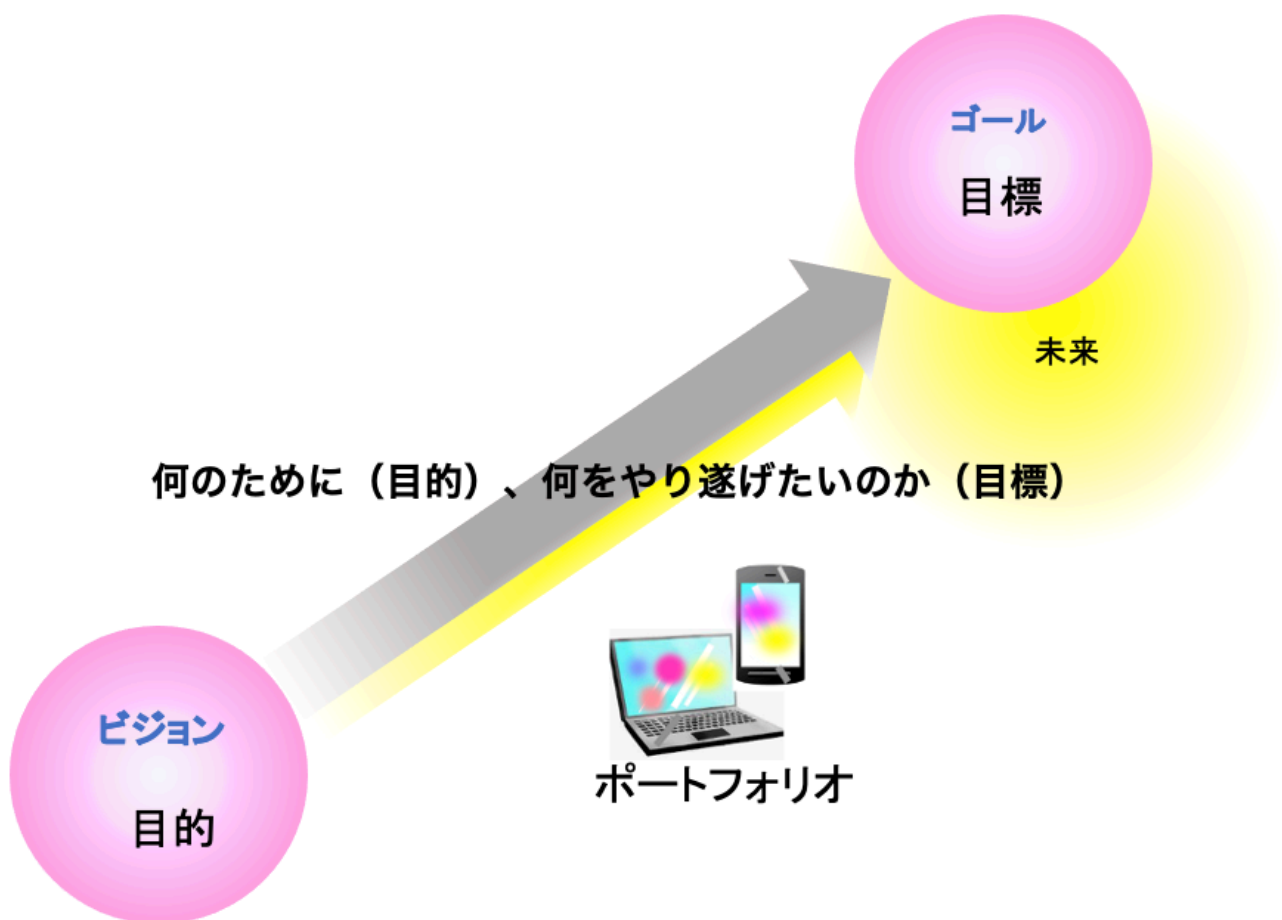
未来教育-プロジェクト学習とは、Project の考え方をベースにポートフォリオ・対話コーチングを統合させ「意志ある学び」を実現する次世代教育

■ 未来教育-プロジェクト学習

プロジェクト学習とは、プロジェクトベースで向かう学び (Project Based Learning)

Project・ビジョンやゴールを未来へ描き、そこへ向かう学び

夢を現実にする力が身につく



【プロジェクト】よき未来へ向かう

- ビジョン (目的) とゴール (目標) の存在
- ミッションを胸に未来へ向かう
- 新たな価値を生み出す

【プロジェクト】は、現実をよくする

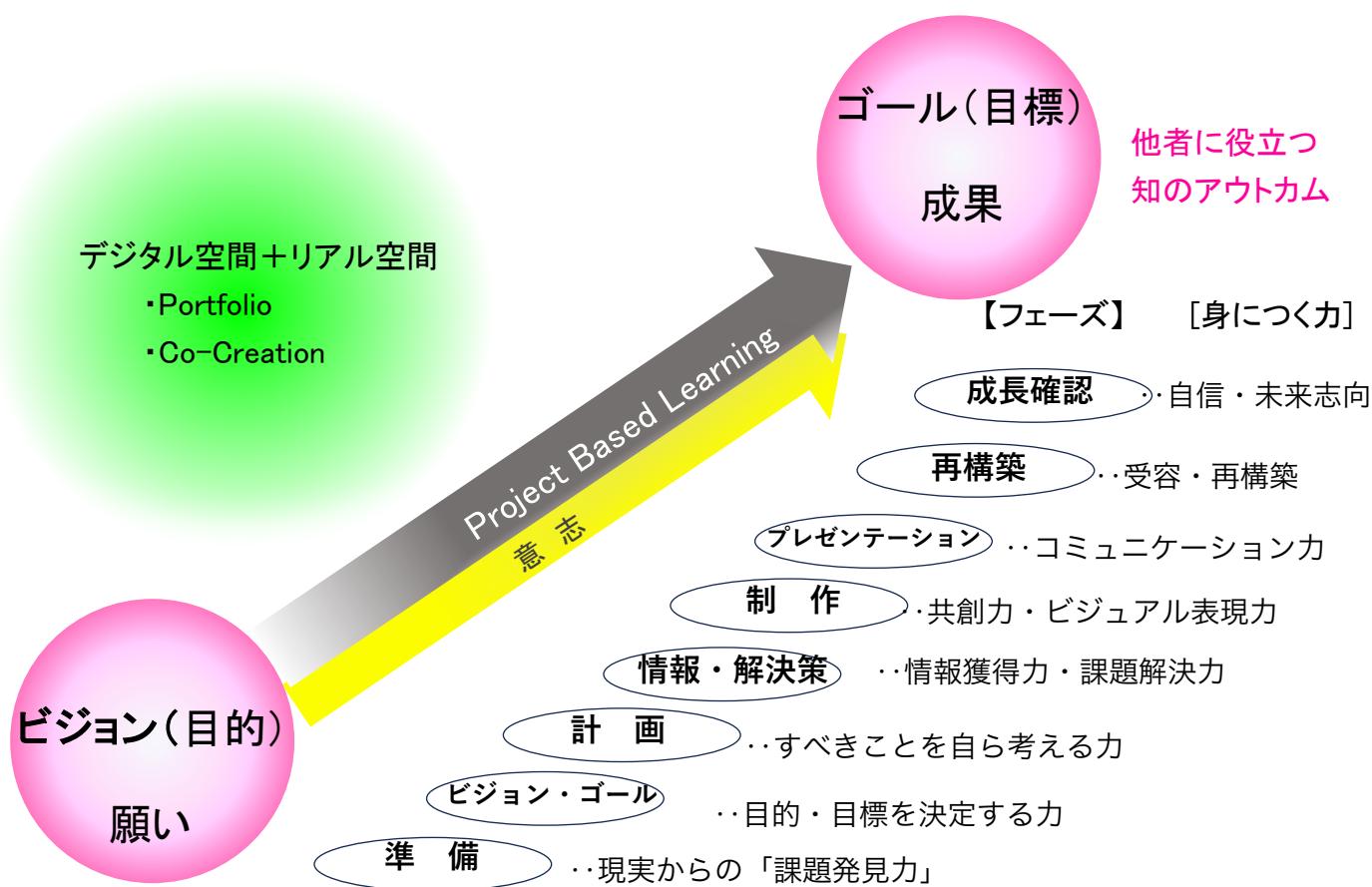
- 現実直視してありたい未来を描く
- 現実とありたい状態のギャップ=「課題」を見出す
- 現実へ課題解決策を提案する

■ プロジェクト学習(PBL)の基本フェーズ

プロジェクト学習には基本的なフェーズ展開があります。[準備]のフェーズでは現実を見て課題発見を、[ビジョン・ゴール]のフェーズでは目標設定力を身につけ [計画]ではゴールのために必要な情報やすべきことを戦略的に考え工程表を作成します。[情報・解決策]では、情報を手に入れ課題解決策を考え出します。[制作]では課題解決を構築的にビジュアル表現します。[プレゼンテーション]では、聞き手が納得する コミュニケーション力や知の共有の仕方を、[再構築]では、プレゼンの際に得た、 フィードバックを取り入れさらに良くしていく改善力を、[成長確認]ではポートフォリオで振り返り成長した自分を自覚し、次へのモチベーションを高めます。

ゴールへ向かうプロセスで人間的な成長をも叶えます。

<図：プロジェクト学習のフェーズと身につく力>



■展開の基本コンセプト：Co-Creation（共創）

【マイルストーン=フェーズ】 フェーズごとに、チームを超え、プレゼン（共有）しあう。互いにアイディア・アドバイス・ひらめき・触発、知的刺激・また【普遍性】を見出す。【コラボレーション】 【Co-クリエーション】 <省略>

■PBLの基本フェーズ・「活動」と「身につく力」

フェーズ	活動	身につく力
準備	 <p>目の前の現実や状況を見て課題を発見する。基本情報を獲得する。ネットだけでなく現地へ行く、人と会うことが必須。</p> <p>思考・対話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自ら課題を発見する力 <input type="checkbox"/> 現実直視・気づく力 <input type="checkbox"/> 現実を俯瞰して、総合的にとらえる力 <input type="checkbox"/> はじめて出会う人とのコミュニケーション力 <input type="checkbox"/> 社会の現状を知ろうとする姿勢
ビジョン・ゴール	 <p>プロジェクトのビジョンを描き、ゴールを明確にする。同じ課題意識でチーム結成し、話し合い、チームの目標を決める、チームビルディング。</p> <p>思考・対話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ビジョン力 価値ある「目的」へぶれない姿勢 <input type="checkbox"/> 目標設定力 具体的な「目標」を決定できる力 <input type="checkbox"/> チャレンジ心 <input type="checkbox"/> 社会の課題と自らの課題を重ね合わせて考える力
計画	 <p>目標達成のために、これからすべきことを考え、戦略的な計画を立てる。チームの役割、資質、能力を活かす。</p> <p>思考・対話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 戦略的な計画力 <input type="checkbox"/> すべきことを自ら考え出せる計画力 <input type="checkbox"/> 優先すべきことを決定できる力 <input type="checkbox"/> 限られた時間を有効的、戦略的に活かす力
情報・解決策	 <p>現場へ行く。専門家や当事者に話を聞く。事実、事例などを得て企画力・発想力豊かに、課題解決を考える。</p> <p>思考・対話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報獲得につながるコミュニケーション力 <input type="checkbox"/> 状況判断・洞察力 <input type="checkbox"/> 根拠ある情報、新鮮な情報を獲得する力 <input type="checkbox"/> さまざまな事態における臨機応変な対応力 <input type="checkbox"/> 企画力・発想力 <input type="checkbox"/> 「具体的な課題解決」を考え出せる力 <input type="checkbox"/> 「独創的なアイデア」を考え出せる力
制作	 <p>プレゼンテーションで提示するものを制作する。リアリティーのため現物を用意する。</p> <p>思考・対話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 視覚的にわかりやすく表現する力 <input type="checkbox"/> 独自のアイデアをユニークに表現できる <input type="checkbox"/> 視覚的に伝わる、表現力
プレゼンテーション	 <p>プレゼンター同士が相互評価で改善。その後、地域社会やプロジェクト対象者へ公開プレゼンする。</p> <p>思考・対話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 知の共有・相互評価力 <input type="checkbox"/> プレゼンター（提案者）へ役立つフィードバックができる <input type="checkbox"/> 他者のプレゼンから学び自己の改善に活かせる <input type="checkbox"/> プレゼンテーション力・コミュニケーション力 <input type="checkbox"/> 視覚情報を活かし、わかりやすく伝える力 <input type="checkbox"/> インタラクティブなプレゼンテーション力 <input type="checkbox"/> 現実に役立つ提案力
再構築	 <p>プレゼン時のリターン評価を活かし、知の再構築をする。プロジェクト学習の成果物（提案集）を生み出す。</p> <p>思考・対話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 知を再構築する力 <input type="checkbox"/> 他者に役立つ「知の成果物」を生める力 <input type="checkbox"/> 論理的な表現力 <input type="checkbox"/> 改善力
成長確認	 <p>成長を自覚し、再現性のある力とする。自分の資質を考えキャリアビジョンを描いてみる。</p> <p>思考・対話</p> <p>ゴールへの軌跡 Portfolio で一元化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 成長の自覚 <input type="checkbox"/> 自尊感情・自信 <input type="checkbox"/> キャリアビジョン <input type="checkbox"/> 達成感 <input type="checkbox"/> 自分の資質・能力の見出し

出典『AI時代の教育と評価』（教育出版）鈴木敏恵：著

『PBL マトリックス』の構成

「PBL マトリックス」は、プロジェクト学習(PBL)の各フェーズに対応する対話コーチングやAI活用を組み込んだ実践的な学習フレームワークです。

「A 基本フェーズ」にはプロジェクト学習(PBL)の基本フェーズ展開における活動、そこで身につく力、そのための対話コーチングを記載しています。

「B ポートフォリオの中身」の「1) 『情報・思考』」には、このフェーズで手に入れる必要がある「情報や知識」それをもとに考えたり気づいたりする視点。

「B ポートフォリオの中身」の「2) 『AI活用』とプロンプト」には、このフェーズにおけるAI活用の例とそのプロンプト(指示)例を記載しています。

「C 学校シーン」には、学校のそのようなシーン(教科や活動)でこのPBLやフェーズ展開が活きるのかという事例を記載しています。

A 基本フェーズ

- 1) 活動
- 2) 身につく力
- 3) 対話コーチング

B ポートフォリオの中身

- 1) 『情報・思考』
- 2) 『AI活用』とプロンプト

PBL マトリックス		中高校編		構想・設計: 鈴木敏恵			
総合的な学習・探究学習・教科学習・特別活動							
A 基本フェーズ			B ポートフォリオの中身		C 学校シーン		
フェーズ	1) 活動 2) 身につく力	3) 対話コー チング	1) 『情報・思 考』	2) 『AI活 用』と プロンプト	小	中	高校
[1] 準備	目の前の現実や状況を見て「課題」を見出す <input type="checkbox"/> 課題発見力 <input type="checkbox"/> 現実直視力						
[2] ビジョン・ゴール	ビジョンを描き目標(ゴール)を明確にする <input type="checkbox"/> 目標設定 <input type="checkbox"/> ビジョン力						
[3] 計画	目標達成のために、すべきことを考え戦略的な計画を立てる。 <input type="checkbox"/> 自らすべきことを考え出す力 <input type="checkbox"/> 時間管理						
[4] 情報解決策	情報を得て課題解決を考え出す <input type="checkbox"/> 課題解決力 <input type="checkbox"/> クリティカルシンキング <input type="checkbox"/> 発想力						
[5] 制作	プレゼンテーションで提示するボード制作(共創) <input type="checkbox"/> 視覚的表現力 <input type="checkbox"/> 知の構成力						
[6] プレゼン	プロジェクトの成果(新たな価値創造)をプレゼン <input type="checkbox"/> コミュニケーション力(知の提供) <input type="checkbox"/> 対応力						
[7] 再構築	プレゼンでのフィードバックを活かして仕上げる <input type="checkbox"/> 知の再構築 多様な視点、価値観 受け入れ						
[8] 成長確認	プロジェクト全体を俯瞰し自分の成長を確認する <input type="checkbox"/> 自己効力感 <input type="checkbox"/> 自信 <input type="checkbox"/> 未来志向						

C 学校における 該当シーン

小・中・高校など
探究学習・教科学習・特別活動

PBL マトリックス™ は、未来教育プロジェクト(<https://suzuki-toshie.net/>)が開発したプロジェクト学習の実践フレームワークです。

本資料の内容は、無断での利用・転載・改変はお控えください。著作権 © 2025 未来教育プロジェクト All Rights Reserved.